

フランス語 (French)

フランス語初級 (Elementary French)

(総科((総科B)1年))

長井伸仁・准教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1単位 後期 木 1・2

(平成19年度以前の授業科目:『フランス語初級』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『フランス語(1)』)

【授業の目的】 フランス語は、フランスの他、ベルギー、スイス、カナダ、カリブ海諸島、アフリカなど、世界の多くの地域で話されています。また、言語としてはスペイン語やイタリア語と近い関係にあります。この授業では、前期の「入門」で得た知識をもとに、フランス語の総合的コミュニケーション能力を高めることを目指します。この「初級」を修了すれば、文法的な知識はひととおり身につけているはずで、あとは語彙を増やし、さまざまな表現を身につけるだけです。

【授業の概要】 学習内容は、文法、読解、作文、会話のすべてにわたります。また、ことばだけでなく、ことばを話す人たちについても知ってもらうため、フランスやフランス語圏の社会や文化にもふれます。

【キーワード】 フランス語、言語

【先行科目】 『フランス語/フランス語入門』(1.0)

【関連科目】 『フランス語/フランス語初級』(1.0)

【到達目標】

1. 簡単な質問や意見の交換が口頭でできる。
2. 過去や未来に関する平易な文章が読め、書ける。

【授業の計画】

1. 1-3週:マンガ、目的語。
2. 4-6週:言語と通貨、複合過去と半過去。
3. 7-9週:植民地と移民、大過去、単純未来。
4. 10-12週:フランス人と法、接続法、ジェロンディフ。
5. 13-14週:フランス人とワイン、条件法。
6. 15-16週:期末試験・総括授業

【教科書】 大木充ほか『グラメール・アクティヴー文法で複言語・複文化―』朝日出版社、2010年、2,500円+税、ISBN: 978-4-255-35210-7。

【参考書等】 仏和辞典を必ず購入し、授業に持参してください(どの出版社のものでも構いません)。

【成績評価の方法】 平常点(授業への取り組み、小テストの得点)と学期末試験の得点をもとに、総合的に評価します。

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 この授業は火曜3・4講時の授業とセットであり(ペアクラスと呼ばれる制度です)、どちらかの授業だけ受講することはできません。単位は各学期2単位ずつ認定されます。なお、前期に「入門」の単位を取得できなかった学生の受講も認めますが、授業は「入門」のレベルをクリアしていることを前提にして進めます。積極的な自宅学習で遅れを取り戻してください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221257>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒長井(3116-2,) (オフィスアワー: 月曜の昼休み)

【備考】 火曜3・4講時のフランス語初級とのペアクラスです。

French

Elementary French

(総科 ((総科 B)1年))

Nobuhito Nagai · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 後期 木 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目: 『フランス語初級』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『フランス語 (1)』)

Target) フランス語は、フランスの他、ベルギー、スイス、カナダ、カリブ海諸島、アフリカなど、世界の多くの地域で話されています。また、言語としてはスペイン語やイタリア語と近い関係にあります。この授業では、前期の「入門」で得た知識をもとに、フランス語の総合的コミュニケーション能力を高めることを目指します。この「初級」を修了すれば、文法的な知識はひととおり身につけているはずで、あとは語彙を増やし、さまざまな表現を身につけるだけです。

Outline) 学習内容は、文法、読解、作文、会話のすべてにわたります。また、ことばだけでなく、ことばを話す人たちについても知ってもらうため、フランスやフランス語圏の社会や文化にもふれます。

Keyword) *French, language*

Fundamental Lecture) “French/Introductory French”(1.0)

Relational Lecture) “French/Elementary French”(1.0)

Goal)

1. 簡単な質問や意見の交換が口頭でできる。
2. 過去や未来に関する平易な文章が読め、書ける。

Schedule)

1. 1-3 週: マンガ、目的語。
2. 4-6 週: 言語と通貨、複合過去と半過去。
3. 7-9 週: 植民地と移民、大過去、単純未来。
4. 10-12 週: フランス人と法、接続法、ジェロンディフ。
5. 13-14 週: フランス人とワイン、条件法。
6. 15-16 週: 期末試験・総括授業

Textbook) 大木充ほか『グラメール・アクティヴー文法で複言語・複文化一』朝日出版社、2010年、2,500円+税、ISBN: 978-4-255-35210-7。

Reference) 仏和辞典を必ず購入し、授業に持参してください(どの出版社のものでも構いません)。

Evaluation Criteria) 平常点(授業への取り組み、小テストの得点)と学期末試験の得点をもとに、総合的に評価します。

Re-evaluation) 無

Message) この授業は火曜 3・4 講時の授業とセットであり(ペアクラスと呼ばれる制度です)、どちらかの授業だけ受講することはできません。単位は各学期 2 単位ずつ認定されます。なお、前期に「入門」の単位を取得できなかった学生の受講も認めますが、授業は「入門」のレベルをクリアしていることを前提にして進めます。積極的な自宅学習で遅れを取り戻してください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221257>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Nagai (3116-2,) (Office Hour: 月曜の昼休み)

Note) 火曜 3・4 講時のフランス語初級とのペアクラスです。